

質問への回答：公益財団法人佐賀県産業振興機構 事務処理の効率化等に関する業務委託に係るプロポーザル

質問事項	回答	回答日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計ソフトのインストール台数について</li> <li>・伺書入力の利用人数について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の運用では4拠点計80名の端末に会計ソフトをインストールし、会計ソフト上で伺書作成を行っています。伺書作成時には予算データ(予算科目、予算残額、執行済額)を引用しています。</li> <li>・会計業務の従事者は総務担当のみとなりますので、伺書作成と機能を分ける場合は、仕様書の5ページに記載の総務担当者21名が会計ソフト使用者、伺書作成の使用者は80名の前提で作成ください。</li> <li>・なお、仕様書の4ページに本業務での検討項目として挙げているグループウェアや勤怠管理、経費支払、人事労務システムの対象は134名を想定しています。</li> </ul>	11月1日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計システムの同時接続数について</li> <li>・固定資産管理の同時接続数について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の運用では会計ソフトの同時接続数は4拠点計23です。更新に伴う接続数の見直しを想定していますが、提案に際しては<u>21</u>の前提で作成ください</li> <li>・固定資産管理の同時接続数は5の前提で作成ください。</li> </ul>	11月1日 <u>(11月5日一部修正)</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション・審査会(11月20日開催予定)の参加人数上限について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション・審査会当日の参加人数は3名以内でお願いします。</li> </ul>	11月1日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書4ページに記載の検討事項①～④に関して、既存システムのメーカーや商品名、利用人数について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存システムのメーカーや商品名、利用人数は次のとおりです。</li> <li>①会計システム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>※略称:産業イノベーションセンター「イノベ」、シンクロトロン光研究センター「シンクロ」、 県産品流通デザイン公社「公社」、さが産業ミライ創造ベース「RYO-FU」</li> <li>商品名:サクセス パワフル会計「公益」</li> <li>インストール数:80(イノベ39、シンクロ5、公社25、RYO-FU11)</li> <li>同時接続数:23(イノベ8、シンクロ2、公社8、RYO-FU5)</li> </ul> </li> </ul>	11月5日

	<p>②グループウェア 商品名:佐賀電算センター WEBWALKER'S Neo 利用数:134(イノベ64、シンクロ30(現状 17)、公社25、RYO-FU15)</p> <p>③給与計算 商品名:ソリマチ 給料王 利用数:5(イノベ2、シンクロ1、公社1、RYO-FU1)</p> <p>④勤怠管理 商品名:OBC 奉行クラウド 利用数:134(イノベ64、シンクロ30、公社25、RYO-FU15)</p>	
・既存システムから切替えた場合、過去データの参照期間について	・システム移行後の過去データ参照期間については5年以上を想定しており、これ以前のデータについては磁気媒体で保存(読み出し)可能であることとします。	11月5日
・仕様書4ページに記載の検討事項⑥人事・労務管理システムについて	<p>・今年11月から導入するシステムは次のとおりです。</p> <p>⑥人事・労務管理システム 商品名:プラスアルファコンサルティング タレントパレット 利用数:125(イノベ61、シンクロ29、公社30、RYO-FU5)</p>	11月5日
・11月1日付け質疑回答に記載した固定資産管理の同時接続台数について	<p>・既存の固定資産管理のシステムは次のとおりです。</p> <p>商品名:サクセス パワフル償却(会計システムと連動) 利用数:2(シンクロのみ ※会計システム更新後は各拠点に導入予定)</p>	11月5日
・本業務委託契約の範囲について	<p>・本業務委託契約の範囲は、(1)財務会計システムの更新に係る費用(構築費、導入サポート費等)及び(2)グループウェア・勤怠・給与・精算・人事管理等、各種システムの提案及びDX実現のための業務改善計画案の取りまとめとしています。</p> <p>・(1)の仕様要件である伺書作成を行うため、グループウェア等の機能を使用する必要がある場合は、グループウェア等を費用に含めて提案してください。</p>	11月5日